

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の公表

4月17日(木)に実施された令和7年度全国学力・学習状況調査の結果および分析についてお知らせします。

平成19年度から開始され今年度で19回目の実施となる本調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、①教科に関する調査として小学校は国語・算数・理科の3教科、中学校は国語・数学・理科の3教科。②生活習慣や学習環境などに関する児童・生徒質問調査が行われました。

本調査の結果をもとに、教育委員会では教育施策の充実を、各学校では教育活動の改善・充実に向けた取り組みを進めています。つきましては、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

新冠町内小学校（学校数1校、受験児童数38人）

【調査結果の概要】

小学校は、全国平均と比較して、国語が【やや低い】、算数が【低い】、理科が【同様】という結果でした。各領域の状況は次のとおりです。

【学力状況の概要】

国語では「話すこと・聞くこと」、「読むこと」が【同様】、「書くこと」が【相当低い】という結果でした。

算数では「変化と関係」「データの活用」が【やや低い】、「数と計算」が【低い】、「図形」が【相当低い】という結果でした。

理科では「エネルギー」「生命」「地球」を柱とする領域が【同様】、「粒子」を柱とする領域が【やや低い】という結果でした。

【児童質問調査の結果から】（全国との比較）

＜良かった点＞（あてはまる・だいたいあてはまる）

○5年生までに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、ほぼ毎日使用した

→ 83.3%（全国差 + 36.6%）

○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか

→ 86.1%（全国差 + 17.5%）

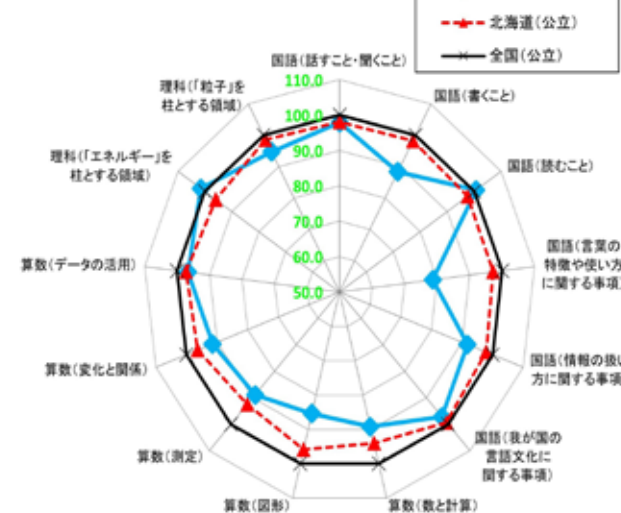
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

→ 97.3%（全国差 + 12.4%）

＜分 析＞

☆上記3点について、他者参照や交流・共同編集等を目的としたアプリケーションを導入し、個別最適な学び・協働的な学びを推進すると共に、児童の活動時間を十分に保障する授業改善に取り組んだ結果、全国平均を上回ったと考えられる。

【教科に関する調査結果】



【小学校の主な学力向上の取り組み】

☆各領域の基礎基本の定着を徹底して行う

☆日常の場面に応じて目的に合った算数的な活動を行い、学んだことを活かす

☆単元の途中や発展的な内容に進む前に、今まで学習したことの振り返りを入れる

☆考えたことを比べたり、使ったりしながら協働的に学習を進めていく

☆決められた文字数で要旨をまとめたり、自分の感想などを書いたりする学習を取り入れる

☆朝読書や読書週間などを通して、読書の楽しさ、本への親しみを養う

☆I C T機器の効果的な活用により、基礎基本の習熟と学び合う授業づくりを進める

☆「学年×10分」の習慣化を目指した家庭学習の定着

新冠町内中学校（学校数1校、受験生徒数36人）

【調査結果の概要】

中学校は、全国平均と比較して、国語が【やや低い】、数学が【低い】、理科が【高い】という結果でした。各領域の状況は次のとおりです。

【学力状況の概要】

国語では「書くこと」が【同様】、「読むこと」が【やや低い】、「話すこと・聞くこと」が【相当低い】という結果でした。

数学では「データの活用」「図形」が【やや低い】、「数と式」が【低い】、「関数」が【相当低い】という結果でした。

理科では「地球」「粒子」「生命」を柱とした領域が【高い】または【やや高い】、「エネルギー」を柱とする領域が【同様】という結果でした。

【生徒質問調査の結果から】（全国との比較）

＜良かった点＞（あてはまる・だいたいあてはまる）

○国語の勉強は得意である

→ 82.4%（全国差 + 31.0%）

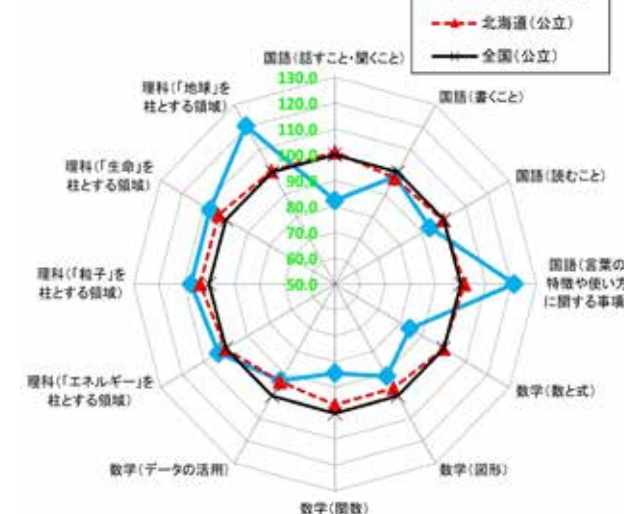
○自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた

→ 82.4%（全国差 + 19.4%）

＜分 析＞

☆上記2点について、特に国語の授業において毎時間授業の評価基準を示しながら振り返りを行うことで生徒自身が自分の学習状況を的確に理解すると共に、他者参照や交流の時間を効果的に仕組むなど、協働的な学習を行った結果、全国平均を上回ったと考えられる

【教科に関する調査結果】



【中学校の主な学力向上の取り組み】

☆生徒の学ぶ意欲を高めるための組織的な校内研修の推進

☆I C T等を通じて、自分の考えをわかりやすく表現したり、互いの意見を比較したりする協働的な学びと、一人ひとりが自分に合った学習アプリを活用する、個別最適な学びの推進

☆家庭学習の質を高めるために、生徒が学習計画表を作成して実行することの推進

☆放課後学習会や長期休業学習会への参加意識をより向上させる指導の工夫

【今後の学力向上策について】

今年度、町内小・中学校では、「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業（連携校）」、「小学校専科教員加配事業」、「巡回指導の実施に向けたモデル構築事業（連携校）」、「働き方改革推進事業」などの指定校事業等を受け、教育活動や授業・指導法の改善に取り組んでいます。また、教育委員会においても、幼小中連携、学力・体力向上、I C T教育の推進や、教育環境の整備（町負担教職員配置等）に取り組んでいます。

【新冠町教育委員会の学力向上策】

- ☆幼小中接続・小中一貫を意識したカリキュラム・マネジメント及び改善プランの実践と検証による授業改善の推進
- ☆I C T機器を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の推進
- ☆校種連携により義務教育9年間を通して計画的・継続的に行われる発達の段階に応じた家庭学習習慣確立に向けた取り組みの推進

●問い合わせ先：教育委員会管理課管理グループ ☎ 0146・47・2547